



NUAGE

NUAGE MASTER

CONTROL SURFACE
Ncs500-CT

NUAGE FADER

CONTROL SURFACE
Ncs500-FD

NUAGE I/O

AUDIO INTERFACE
Nio500-D16/A16/A8D8

V1.6 追補マニュアル

この追補マニュアルでは、NUAGE V1.6で追加/変更された機能を中心に説明します。
NUAGE関連の各マニュアルと併せてご利用ください。

主な変更点

・ Cubase Pro 8に対応	(Nuage Master、Nuage Fader)	2ページ
・ Nuage I/O SetupのDirect Monitoring画面を更新	(Nuage I/O)	4ページ
・ ステレオパンナーの切り替え機能を追加	(Nuage Fader)	4ページ
・ チャンネルストリップにパラメーターを追加	(Nuage Fader)	5ページ
・ チャンネルセッティングモードのパラメーター切り替えに対応	(Nuage Fader)	5ページ
・ 選択範囲でイベントを分割するショートカットを追加	(Nuage Master)	5ページ
・ インサートの一括バイパス機能追加	(Nuage Fader)	6ページ
・ ダイナミクスの一括バイパス機能追加	(Nuage Master)	6ページ
・ 複数のAvid Pro Tools切り替えに対応	(NUAGE Workgroup Manager)	6ページ
・ RMio64-Dのリモートコントロールに対応	(NUAGE Workgroup Manager)	7ページ
・ マーカージャンプ機能のポップアップをリスト表示に変更	(Nuage Master)	8ページ
・ プロジェクトカーソル位置の指定方法を追加	(Nuage Master)	8ページ
・ プロジェクト再生中の[ジョグホイール]有効/無効選択機能を追加	(Nuage Master)	9ページ

Cubase Pro 8に対応 (Nuage Master、Nuage Fader)

Cubase Pro 8に対応しました。以下の新機能にも対応しています。

VCA Fader

VCA Faderの表示/非表示をCHANNEL VIEW CONTROLセクションの[OTHERS]で切り替えられます。

DeEsser

Nuage FaderやNuage Masterで、DeEsserのパラメータを操作できるようになりました。

(下記はNuage Masterの画面です。)



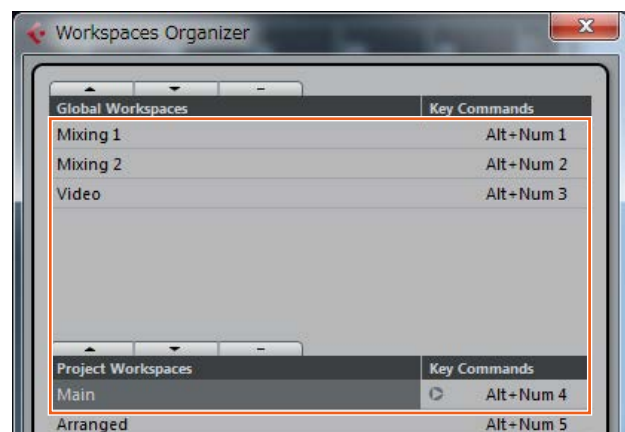
プラグインマネージャー

コレクションを作成して選択している場合、選択しているコレクション内のプラグインエフェクトだけが「インサート」選択時のリストに表示されます。

Nuage Masterの[マルチファンクションディスプレイ]では、表示されるフォルダー構造が2階層までに制限され、2階層目以下のプラグインエフェクトは、すべて2階層目に表示されます。

ワークスペース拡張

Nuage FaderのWORKSPACEセクションから呼び出せる「ワークスペース」は、「ワークスペースオーガナイザ」に表示される「ワークスペース」の内、上から4つめまでです。たとえば「グローバルワークスペース」が3つ、「プロジェクトワークスペース」が2つある場合は、上から「グローバルワークスペース」3つと「プロジェクトワークスペース」1つが[WORKSPACE 1]~[WORKSPACE 4]に割り当てられます。



ハイカット、ローカットのフィルタースロープ

- Nuage Faderのチャンネルストリップから「ハイカット」や「ローカット」のスロープを操作できます(5ページ)。
- Nuage MasterのCHANNEL CONTROL — MAINページで下記のパラメータを操作できます。



① BYP

インプットフィルターの「バイパス」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

② プリセット

インプットフィルターのプリセットを選択する画面を開きます。

③ フィルタースロープ設定

「ハイカット」「ローカット」それぞれのフィルタースロープを選択します。

- Nuage Master、Nuage Faderの各EQグラフがフィルタースロープに対応しました。

CHANNEL CONTROL — EQページ



チャンネルストリップ



チャンネルセッティングモード



MIDIイベントのトラックへの記録

Nuage MasterのCHANNEL CONTROL — INSERTページで下記のパラメーターを操作できます。



① **MIDI/Audio** (インストールメントトラック表示時のみ)
プラグインの種類を切り替えます。MIDIイベントをトラックに記録するときは、「MIDI」を選択してください。

② ● (Record Output to Track)

MIDIイベントの記録先としてMIDIトラックまたはインストールメントトラックを選択(点灯)/選択解除(消灯)します。

MIDIセンドのプリフェーダー / ポストフェーダー切り替え

Nuage MasterのCHANNEL CONTROL — SENDSページで下記のパラメーターを操作できます。



PRE

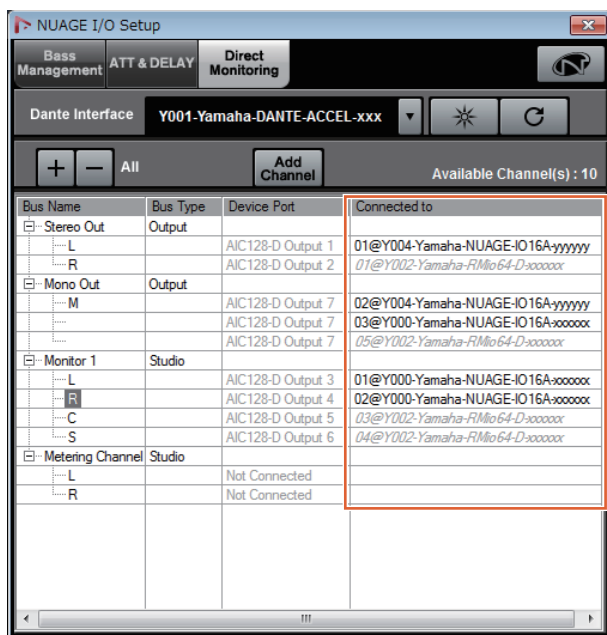
MIDIチャンネルの「プリフェーダー」「ポストフェーダー」を切り替えます。[マルチファンクションボタンB]でも同様に切り替え可能です。

Nuage I/O SetupのDirect Monitoring画面を更新 (Nuage I/O)

NUAGE I/O SetupのDirect Monitoring画面にダイレクトモニタリングの対象となっている出力バスの接続先が表示されるようになりました。使用可能なNuage I/Oのポートが「Connected to」に表示されます。

NUAGE I/O Setup画面を開くには、Nuendoのメニューの「デバイス」→「NUAGE I/O Setup」をクリックします。

NUAGE I/O Setup — Direct Monitoring画面



NOTE

- Dante Acceleratorの1つの出力ポートが複数のNuage I/Oのポートに接続されている場合は、対象となるポートは縦に並んで表示されます。
- NUAGE Workgroupに含まれていないNuage I/Oは、グレーの斜線で表示され、ダイレクトモニタリングの対象になりません。
- Nuage I/Oと同じ出力バスにアサインされているRMio64-Dは、ダイレクトモニタリングの有効/無効に関わらずグレーの斜線で表示されます。RMio64-Dのダイレクトモニタリングについては、RMio64-D取扱説明書をご参照ください。
- Nuage I/Oからの入力とRMio64-Dからの入力がミックスされて同じNuage I/Oのポートにダイレクトモニタリング出力される場合は、Nuage I/Oからの入力だけが出力されます。

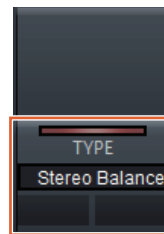
ステレオパンナーの切り替え機能を追加 (Nuage Fader)

Nuage Faderでステレオパンナーのタイプを切り替えられるようになりました。

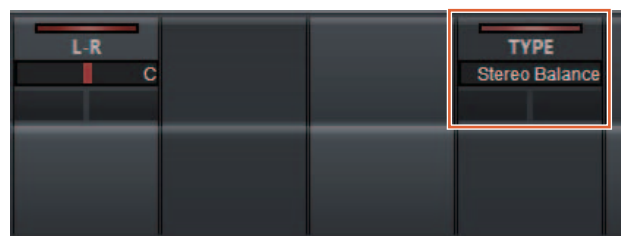
操作方法

1. SECTION CONTROLセクションの[PAN]を押します。
2. (チャンネルストリップ表示のみ) [サブパラメーター 2]を押します。
ラベルエリアにステレオパンナーのタイプが表示されます。
3. 画面に対応する[マルチファンクションノブ]を押します。
ステレオパンナーを選択するためのポップアップが表示されます。
4. [マルチファンクションノブ]を回して、ステレオパンナーのタイプを選択します。
5. もう一度[マルチファンクションノブ]を押して、選択を確定します。

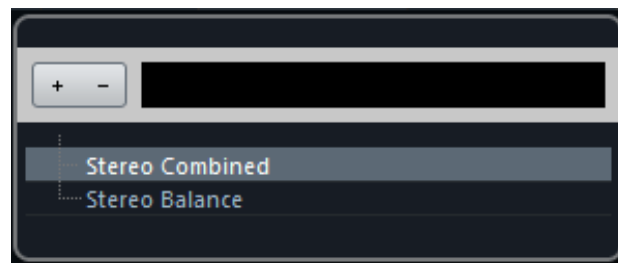
チャンネルストリップ



チャンネルセッティングモード



ポップアップ



チャンネルストリップにパラメーターを追加 (Nuage Fader)

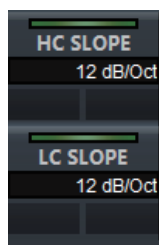
チャンネルストリップでHC SLOPE、LC SLOPE、GAIN、φ (PHASE)、HA HPF、HA +48Vを操作できるようになりました。

また、サブパラメーター 2 にアサインされていたHA GAIN、HA GCをサブパラメーター 4 に移動しました。

操作方法

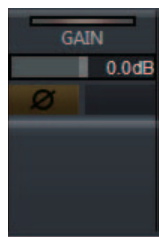
1. SECTION CONTROLセクションの[PRE]を押します。
2. [サブパラメーター 2]～[サブパラメーター 5]のどれかを押します。
ラベルエリアに下記のパラメーターが表示されます。
3. 画面に対応する[マルチファンクションノブ]や[マルチファンクションボタン]でパラメーターを操作します。

サブパラメーター2



HC SLOPE、LC SLOPE

サブパラメーター3



GAIN、φ (PHASE)

サブパラメーター4



HA GAIN、HA GC
(Rio3224-D/Rio1608-D
リモートコントロール時)

HA GAIN、HA TRIM
(AD8HRリモートコントロール時)

サブパラメーター5



HA HPF、HA +48V
(HAリモートコントロール時)

チャンネルセッティングモードのパラメーター切り替えに対応 (Nuage Fader)

チャンネルセッティングモードでも、サブパラメーターを切り替えてパラメーターを操作できるようになりました。

NOTE

現在対象となっているのは、

- DeEsser (Cubase Pro 8以降)
 - Envelope Shaper
- の「ダイナミクス」2種類のみです。

操作方法

チャンネルセッティングモードで表示されているチャンネルの「ダイナミクス」にDeEsserまたはEnvelope Shaperが選ばれている状態で

1. SECTION CONTROLセクションの[DYN]を押します。
2. [サブパラメーター 2]を押します。
ラベルエリアのパラメーター表示が切り替わります。
3. 画面に対応する[マルチファンクションノブ]や[マルチファンクションボタン]でパラメーターを操作します。

選択範囲でイベントを分割するショートカットを追加 (Nuage Master)

Nuage Masterのショートカットを使って、選択範囲でイベントを分割できるようになりました。

操作方法

1. Nuendoのプロジェクトウィンドウで、トラック上の分割したい範囲を範囲選択ツールを使って選択します。
2. MODIFIERセクションの[SHIFT]を押したままJOG WHEELセクションの[SPLIT]を押します。
選択範囲でイベントが分割されます。

インサートの一括バイパス機能追加 (Nuage Fader)

選択しているチャンネルの「インサート」のバイパスを一括してオン/オフできるようになりました。

操作方法

1. SECTION CONTROLセクションの[INSERT]を押します。
ラベルエリアに「INSERTS」が表示されます。
2. 画面に対応する[マルチファンクションボタンA]を押して「インサート」のバイパスのオン/オフを切り替えます。

チャンネルストリップ



チャンネルセッティングモード



NOTE

チャンネルセッティングモード時に[サブパラメーター 1]～[サブパラメーター 8]を押すと、対応するスロットに割り当てられている「インサート」の画面が開きます。同じボタンをもう一度押すと、画面が閉じます。
2つのチャンネルをチャンネルセッティングモードで表示しているときは、この機能は無効です。

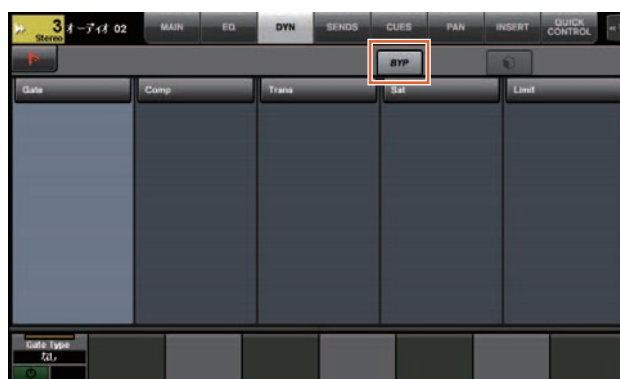
ダイナミクスの一括バイパス機能追加 (Nuage Master)

選択しているチャンネルの「ダイナミクス」のバイパスを一括してオン/オフできるようになりました。

操作方法

1. ダイナミクスをオン/オフするトラックを選択します。
2. MULTI FUNCTION DISPLAYセクションの[DYNAMICS]を押します。
[マルチファンクションディスプレイ]にCHANNEL CONTROL — DYNページが表示されます。
3. 画面上の[BYP]をタッチして「ダイナミクス」のバイパスのオン/オフを切り替えます。

CHANNEL CONTROL — DYNページ

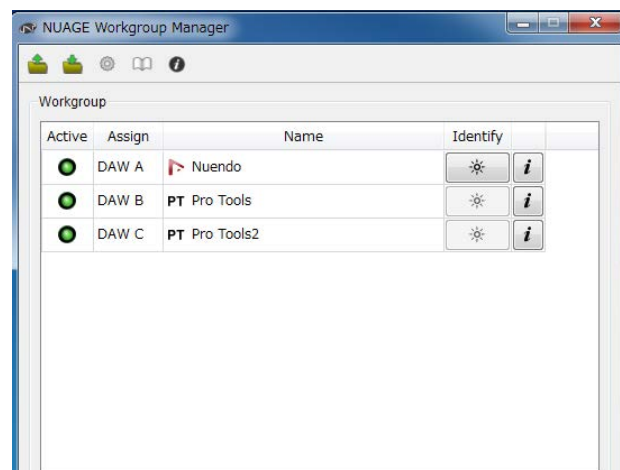


複数のAvid Pro Tools切り替えに対応 (NUAGE Workgroup Manager)

Workgroupに1つしか登録できなかったAvid Pro Toolsを2つまで登録できるようになりました。

NOTE

Avid Pro Toolsの設定は、Nuage MasterまたはNuage Faderのオペレーションマニュアルをご参照ください。



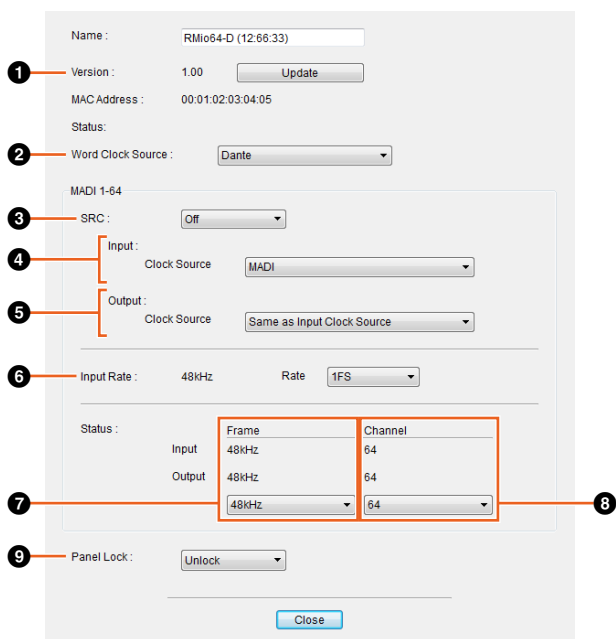
RMio64-Dのリモートコントロール に対応 (NUAGE Workgroup Manager)

Dante/MADI変換オーディオインターフェース RMio64-D
をNUAGE Workgroup Managerからリモートコントロール
できるようになりました。

NOTE

- リモートコントロールするには、対象のRMio64-DがNUAGE Workgroup内でActiveになっている必要があります。
- 各パラメーターを変更した時点でRMio64-D本体に反映されます。
- Workgroupには、Nuage I/OとRMio64-Dを合わせて8台まで登録できます。

RMio64-D — Property画面



コントロールできるパラメーターは次のとおりです。

1 Version

RMio64-D本体のファームウェアバージョンが表示されます。「Update」をクリックすると、本体のファームウェアをアップデートできます。

2 Word Clock Source

RMio64-D本体のワードクロックソースをDante/WCLK IN/MADIから選択します。

3 SRC

MADIのSRC (Sampling Rate Converter)のOff/Onを切り替えます。

4 Input Clock Source

SRC入力のワードクロックソースをMADI/WCLK IN for SRCから選択します。

5 Output Clock Source

SRCがオンのときのMADIの出力信号のワードクロックソースを選択します。

Same as Input Clock Source	MADIの出力信号は、MADIの入力信号に同期します。
Same as Word Clock Source	MADIの出力信号は、RMio64-D本体の動作クロックに同期します。

6 Input Rate

MADIの入力周波数に合わせて1Fs (1倍)/2Fs (2倍)/4Fs (4倍)を選択します。たとえばMADIの入力信号が192 kHz (48 kHzの4倍)のときは「4Fs」を選択します。

7 MADI Output Frame

MADIの出力信号のフレーム周波数を選択します。選択した値と実際に動作している周波数は異なる場合があります。たとえば、設定が「96kHz」の場合で、実際に動作している周波数が「48kHz」のときは「96kHz >> 48kHz」と表示されます。

Same as Input	MADIの入力信号と同じフレーム周波数で出力します。
48kHz	44.1 kHzまたは48 kHzで出力します。
96kHz	88.2 kHzまたは96 kHzで出力します。

8 MADI Output Channel

MADIの出力信号のチャンネル数を選択します。選択した値と実際に動作しているチャンネル数は異なる場合があります。たとえば、設定が「64」の場合で、実際に使用できるチャンネル数が「56」のときは「64 >> 56」と表示されます。

Same as Input	MADIの入力信号と同じチャンネル数で出力します。
64	64チャンネルで出力します。
56	56チャンネルで出力します。

9 Panel Lock

RMio64-D本体のパネル操作のUnlock/Lockを切り替えます。

SRCオン時のMADIの出力信号

Input Clock Source	Output Clock Source	MADIの出力信号
MADI	Same as Input Clock Source	MADIの入力信号に同期
MADI	Same as Word Clock Source	RMio64-D本体の動作クロックに同期
WCLK IN for SRC	Same as Input Clock Source	WCLK IN for SRCから入力されるワードクロックに同期
WCLK IN for SRC	Same as Word Clock Source	RMio64-D本体の動作クロックに同期

マーカージャンプ機能のポップアップをリスト表示に変更 (Nuage Master)

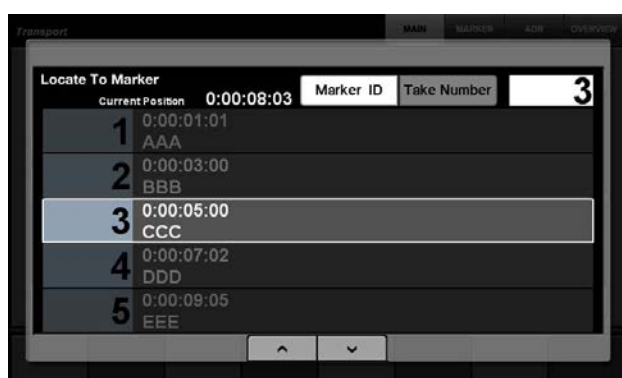
マーカージャンプ機能やサイクルマーカージャンプ機能のポップアップがリスト表示になりました。入力した「マーカー ID」を中心に前後のマーカーが表示されます。

操作方法

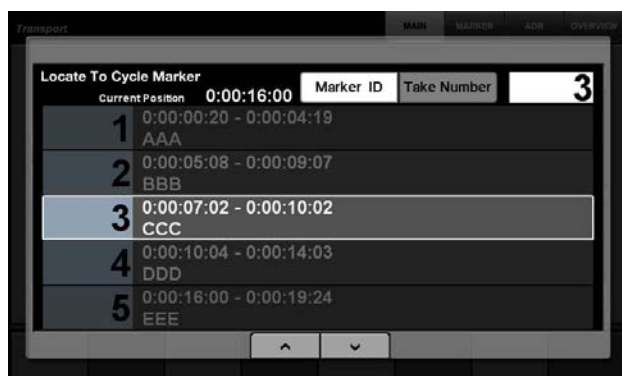
1. NUMERIC PADセクションの[MARKER]を押します。
2. [0]~[9]、[BACK SPACE]、[CLEAR]、[PREV -]、[NEXT +]、[CYCLE .]、[ENTER]のどれかを押します。

[マルチファンクションディスプレイ]に次のポップアップが表示されます。

マーカー機能ポップアップ



サイクルマーカー機能ポップアップ



NOTE

- 画面下部の [] で画面をスクロールできます。
- CubaseにはADR機能がないため、Marker ID/Take Number は画面に表示されません。

プロジェクトカーソル位置の指定方法を追加 (Nuage Master)

TRANSPORTページで「プロジェクトカーソル」の位置を指定するとき、時、分、秒などの単位ごとに数字を入力できるようにしました。

設定

SETUPページ PAGE 3の「Numeric Pad Input」で入力方法を切り替えます。

SETUPページ — PAGE 3



Left 時、分、秒などの単位ごとに数字を入力

Right 従来の入力方法(テキスト入力)

NOTE

この設定を変えると、ロケート機能の入力方法も一緒に切り替わります。

操作方法

1. TRANSPORTセクションの[ディスプレイアクセス]を押します。
2. NUMERIC PADセクションの[PARAM]を押します。
3. 画面上の「Time Display」をタッチします。
4. NUMERIC PADセクションの各キーを使って、プロジェクトカーソルの位置を入力します。

TRANSPORT — MAINページ



プロジェクト再生中の[ジョグホイール] 有効/無効選択機能を追加 (Nuage Master)

プロジェクト再生中の[ジョグホイール]操作を無効にできるようになりました。これにより、再生中のプロジェクトカーソルの誤操作を防げます。

設定

SETUPページ PAGE 3の「JOG Operation during Playback」で入力方法を切り替えます。

SETUPページ — PAGE3



On	プロジェクト再生中の[ジョグホイール]操作を有効にします。
Off	プロジェクト再生中の[ジョグホイール]操作を無効にします。

ヤマハ株式会社

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト :
<http://www.yamahaproaudio.com/japan/>
ヤマハマニュアルライブラリー :
<http://www.yamaha.co.jp/manual/>